

平成 18 年度第 3 回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成 18 年 10 月 23 日（月曜日）午後 1 時 00 分～午後 2 時 50 分

場 所 酒田市八幡中央公民館大ホール

出席者（14 人）

1 号委員 安藤浩夫 佐藤ひとみ 遠田清之 小野明美 堀茂雄

2 号委員 大瀧雅士 村上三喜郎 荒生豊 佐藤貞夫 後藤純子 高橋知美

3 号委員 後藤泉 池田善幸 田村和徳

八幡総合支所 支所長 三柏憲生、地域振興課長 池田保、産業課長 畠山修、地域振興課主査
佐藤弥

欠席委員（1 人） 1 号委員 加藤智子

傍聴者 男性 3 人、女性 1 人

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

地域内振興に関する課題について

「鳥海山を活用した魅力ある観光地にするためには」について

地域コミュニティづくりについて

- ・ 松山と平田のコミュニティ振興会の取り組み状況
- ・ コミュニティ振興会の課題整理

八幡地域づくり事業評価と 19 年度予算要求について

その他の地域課題について

5 閉 会

1 開 会

副会長 　ただ今から第3回の地域協議会を始めます。会長からご挨拶をいただきます。

2 会長あいさつ

会 長 　実りの秋、スポーツ、芸術の秋です。合併一周年を迎えて、色々なイベントもたけなわですが、先日、八森で行われたウォーキング大会には、県内外から 380 人が参加したとありました。これから更に八幡活性化のために有意義な話し合いをしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

3 会議録署名委員の指名

副会長 　会議録署名委員は、8 番委員をお願いします。協議は会長が議長となり進めていただきます。

議 長 　協議に入ります前に、市ホームページに載せている会議録への委員氏名の公表について、平田地区より提案があるそうですので、事務局の説明よろしくをお願いします。

事務局 　現在それぞれの地区協議会の会議録をホームページに載せていますが、発言者については委員の個人名が現されていない状況です。誰の発言なのか関心を持っている人もいます。そこで平田では個人名をホームページ上でも表記したいという考えのようです。会議録を見せて欲しいと八幡地域協議会に来た人もいらっしゃいます。そういったときは、傍聴もしているわけなので見せていますが、ホームページは誰でも気軽にアクセスできるわけです。つきましては、個人名を載せてよいものか皆さんの意見をお聞きしたいと思います。

議 長 　ただ今の件につき、ご意見をいただきたいと思います。

委 員 　難しい問題である。たとえば利害関係が生じるような場合。あと、この場の意見を言ったのは匿名にならなくて、誹謗中傷反論は匿名という場合もありえる。そういう場合を考えると、内容次第ということもあるでしょうが、ケース・バイ・ケースであろうと思う。

委 員 　今、言われた通りで、かなり具体的な話になると、皆さん加減して話すようになる。それを考えると一般論だけの地域協議会であってはならない。掘り下げた議論をする気であって欲しいと考えますので、私としては公開は厳しさを感じる。

委 員 　個人的には、自分の発言については、公開されようとされまいとかまわないと思うが、それに反応した電話が仕事にかかってくる対応出来ない。議員でもないのにそういうものがあると差しさわりが出てくる。

委 員 　私は率直に言って、傍聴を良しとしていることからすると、今の話は公開すべきと考える。但しそうなってくると、私たち委員の方々が十分注意をして発言をするようにしなければならない。そして脱線した話になった場合、皆さんの了解を得まして、その部分の削除もありうるのではないか。そういうやり方は、傍聴を自由にさせている以上、問題はないのかな。傍聴はさせておいて、氏名を載せないというのは、一般市民の立場からするとおかしいと考える。

委 員

どがあったら事務局を通してもらう条件をつければかまわないと思う。個人的な問合せには応じないということで。

委員 私も同じです。いくら公表してもかまわない。

委員 傍聴しているからいいとなるのだろうが、やはりその立場になると、出してもらいたくない考えはある。問合せは事務局を通してといっても直接あるだろう。公表しなければ発言しやすい。

委員 最初は別にいいのではと思っていたが、様々な意見を聞くと、いろんなこともあるんだなという考えになってきた。

委員 今日コミュニティの問題や公民館のこともある。議題の内容によっては、職業柄言いたいことを言えないこともある。

議長 よそも委員の名前を載せていないんですね。それを一斉に載せたらどうでしょうかということですね。

事務局 平田と松山の方では、載せてもいいですよという意見がまとまったと聞いている。

委員 原則公開だと思う。地域協議会は合併の大きなテーマであったわけなので、地域住民が関心を持っている。しかし、それぞれの立場に立った発言をする場合、公開となると発言を控える場面も出てくると思う。個人名がでるから、課題を掘り下げることなく無難な意見交換で終わることであってはならない。どうして個人の名前まで知りたいという人の気持ちはどこにあるのか、逆に私は考えます。

委員 個人の意見と、背負っている立場上の意見と違いがありますから。これはまずいかな、削除したいところを削除できるのであれば、匿名をなくすというのでいいのでは。質問などがあれば事務局を通して行うといった配慮があればいいのではと思いますが。

委員 委員会の中で、削除の要求を委員会で認めれば削除できるわけですから。それからもう一つ、きびしい話になりそうだとした場合、議長の判断で休会にして、意見をまとめて再開すれば、脱線したような言葉はない、という方法もあってもいいのかな。余りそういうことは良くないのだが、最悪の場合そういうこともできる。

委員 委員の実名をホームページに載せる理由、目的がなんなのか。単に、八幡の協議会で出たことを知りたいのであれば、誰がどの意見なのかということは関係のないこと。会でこのような意見が多かったとか、まとまりましたとかであれば、個人名まで載せる必要はない。知りたいというニーズがどの辺にあるのか、不可解だ。もう一点、八幡町時代、e-なかネットを整備するとき、酒田市民からは合併直前に光ファイバ引いて、その後の維持費は新酒田市でみるのかといった財政的にかなりきびしい意見もあったようです。投書する側は匿名な訳です。その辺考えると、実名を知りたいというニーズがどこにあるのか。委員の発言を知りたいのか、地域協議会の意見を知りたいのか。実名表記する意図がわかりません。現状のホームページ、ネット社会を考えれば、公の会議であっても、傍聴だとかをしているというのであれば、特別、実名を出す必要はないと考える。

議長 どうでしょうかね。賛否とったほうがいいでしょうか。

事務局 意見は出し合いました。大体こんな意見かなという気はしますが、賛否を問わなければそのまま、うやむやになってしまいますが。

委員 もう一つは、平田、松山がやるから八幡もやらなければならないんだということをどう判断するか。

事務局 世の中は公開の流れですので、公開にストップかけるような判断になった場合、批判はどこから出てくるでしょうね。

委員 我々が懸念しているのは、自分が何者なのかを表明しない人からの誹謗中傷が個人に対してくる訳です。個人のプライバシーはどうなるんだということになる。公開するのであれば、今日の傍聴もそうですね、皆、住所、氏名書いている。事務局に問い合わせ、何番目の議論のこの言葉は誰が言ったんですかと、事務局が受付けて、公開することが出来るはずなんです。本人の承諾を得てですよ。隠しているわけじゃない。方法論になるかも知れませんが。

議長 どうしても知りたければ問い合わせで公開もありうる。

委員 丸秘にはしてない。ただ世の中には、そういう人もかなりいますよね。みんな良心的な人ばかりではない。

議長 賛否とりますか。

事務局 賛否採らなくても議長の判断でもいいです。

委員 松山、八幡するというのに、八幡だけ公開しないということができるのか。

議長 この辺でこのことについてはよろしいでしょうか。時間も押し迫っています。

4 協議

「鳥海山を活用した魅力ある観光地にするためには」について

議長 次の協議に入ります。鳥海山を活用した魅力ある観光地にするためにはについて入りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1と資料2により八幡町の観光推進を説明した。資料3により最近の動きを紹介した。今日はお話していただきたいことは、地域に暮らす人々がどのように主体的に取り組んだらいいのかということです。結論をまとめる会議でもありませんので、八幡地域が魅力ある観光地になるための委員の意見を言い放しでいいのをお願いします。

議長 みなさんからご意見、アイデアなどいただきたいと思います。

委員 資料を拝見すると基本概念、基本コンセプト、大変立派なものであると思います。それを着実に進めて行くにはそろそろ実施に移すべきでないかとみておりました。全国的に色々なことをやっている。その情報をキャッチして、次になにやるか。人真似はやらないようにして、独自の何かをやりたいと考えていますが、なかなか頭に浮かばない。みなさんもご承知だと思いますが、高齢者が葉っぱを集めて売っている。ちょっとしたことなら高齢者が喜んで仕事出来る。そういったことが、鳥海山という山と自然を壊さない程度にやれたらいいと考えているんですが。

委員 資料3にグリーン・ツーリズム書いていますけれど、最初に地域の人たちが中心になってやらなければならない訳ですが、その辺のことを考えながらやっていかないと、環境破壊とかただ人が来て終わりになる。鳥海南麓計画に交流体験載っていますけれど、この辺を重視していくべきでないか。ほかの地域の人々が山に来て勝手に登るのでなく、自然を守

ることを教えて一緒になにかをやるというのが一番大事なんじゃないか。そうすれば地域の
人たちとふれあいが出来ますから。

委員 インタープリターの方とか山岳ガイド協会の方とか大瀧さんとか、ただ来てくださ
るのではなくて、いろんなことを教えながら、人と人のつながりを大切にして行事を組んで
くださるようですね。

委員 私はこの間から何度も言っているのですが、私たちに足りないこととして、鳥海山
を団体に紹介するために勉強したりして何年か来ましたが、それらの拠点が無いんです。イン
タープリターが集まる場所がないし、たとえば鳥海山や近辺を案内する人たちの溜まり場
というか、そこに来ればいつでもだれかがいるという感じで。月山ビジターセンターがあり
ますが、あそこはいつ行ってもいいという感じです。鳥海山には鳥海山を紹介する施設とか
案内人がいる施設、山の方の観光を活性化させるにはミュージアム的な施設がぜひ必要だ
と思う。またハードかと受け止めるかもしれませんが、これから空いていく施設がいっぱいあ
ると思うので。溜まり場としては舞鶴荘が非常にいいと思っていますし、たとえば学校統合
なってきた時に空いた学校なんかも利用しながら整えて行って。今は私も土日くらいしか活
動出来ない訳ですが、会員の方で定年になった人もいますし、これから定年を迎えよう
としている方も結構いますので、そういった方々はリタイアしたらいつでも案内できますよ
という形になると思う。去年、鶴間池のイベントには県内外、東京、仙台からも人が来た。そ
うような観光のソフトと若干のハードがぜひ必要であると思っています。もう一つ、鳥海
山だけの観光でなくて、酒田市としてやっていただきたいのは、前、本楯「国府の火まつり」
としてやっていましたけれど、酒田市と八幡の一番つながりを持っているのは、それだと思
う。出羽の国府跡の城輪の柵と八森遺跡をメインにして、それは建物だけでは寂しいので、
広域的なイベントをやってほしい。そういったことを常々思っている分野で、なんかできな
いかなと思っています。

委員 集まる場所がない。それ以外にも、元々あるものを利用したほうがいいのに、なか
なか利用できないことがある。たとえば、猛禽類保護センターとかあるんですが、そのほか
にも色々あると思うんです。そういった施設を利用してツーリズムをやればいいのだが、
色々制約があるあるということで、縦と横のつながりがうまく出来ていないらしくって、
なかなかできない。

委員 この地域では鳥海山はいい山だというのが、信州では信州の山が良い山だとなる。そ
れはなぜかという、生活を抱えながらの愛着があるというである。外部の人をいかに呼び
寄せるかといえば、鳥海山のファンを作ることにこだわっていく必要があると常々思ってい
る。東京から鳥海山に来たお客さんを私が案内したとき、一日経ったら山形が恋しくなりま
したと、言われた。そういう一人一人の心を伝えていく機能がこれからは必要だと思う。溜
まり場だとか、案内施設だとかが拠点になって、心と心が伝わって、また来年も来ましょ
うとなる。このようにいいイメージを与えていくことをこれからも考えていく必要がある。も
う一つは、観光道路の除雪を県のほうからいち早く実行してもらおうと。5月連休ごろからし
てもらえば、もっともとお客さんが入るし、春の新緑のイメージなんか大きく変わって
くるのかなと思います。

委員 私が想像している以上に鳥海山を好きな人がいっぱいいると感じている。毎年同じ日に登っている都会の人もいますのでファンは相当多い。そういった人は思い出を綴ったりする傾向が強い訳ですが、酒田市八幡地域のホームページのどこかに、いわゆる登山記を書き込めるセクションを作ってもらったら、行った人が書いたものというのは相当の宣伝力があるんです。そんなに経費がかからない訳なので、これから鳥海山に来るとい人にとって強力な情報提供になると思う。開発と逆行するのかもしれませんが、私が見ていいと思うところは意外と不便なところ。あまり便利よくなり過ぎると、どこかの土産物屋みたいなもので、ここでも買えるみたいな感じがしなくもないものだから、不便だから魅力であるということもあると思う。確かに最低限の除雪はしなければならない訳だが、雪のない時期を考えれば、余り便利すぎるといのも、ぱっと来てぱっと帰る。空き缶でも捨てられて終わるといった感じにもなりかねない部分も背負っている。その辺の判断は専門家の知識を得ながら、滞在型とそうでない型を住み分けする施策が必要であると大雑把には考える。

委員 鳥海山に登る人と清流に釣りに来る人がいる。よく聞かれることは観光地の見所の道順です。また、女性が楽しめる所や子供連れが楽しめる所を案内するところがあればいいのかな。

委員 鳥海山が相手なので壮大すぎる。新しいものを何か作るという考え方もあるのですが、自然にしてもそうだし今在るものをもっと利用できないかな。一條の子供たちを連れて升田のふれあい館に毎年2回くらい行っている。升田のあの施設のすばらしさ、川遊びはできる、山遊びはできる、升田の人たちの心温まることを体験できる。この間は、子供たちが一家庭ずつ回って晩御飯のおかずを一人一個、気持ちよくいただいてきてきたんです。それで次の日餅つきやったところ、子供たちが自主的に「昨日貰ってきた家庭に、この餅配っていいか」と言った。この環境があれば升田生きていけるなと思いました。それを段々酒田市まで広げたり、東京とか大阪とか遠くまで広げていければ、少なくとも人づくりは出来るのかなと思います。ただ、残念なことに子供を相手にやっているときはいいのですが、大人を相手にしたときに、あそこの利用がうまくできるのかな。聞いた話で、ある企業が使いたいといったときに、使わせて貰えなかった。民間とか、法人とか、県外とか、断る理由ないと思う。柔軟な対応を酒田市のほうに望みたい。

議長 このあたりいかがでしょうか。断られた理由などは。

事務局 断られた理由についてよくは分かりませんが、ふれあい館は介護保険施設として整備した施設です。管轄が市民福祉課になっていて、福祉の目的に使うのが前提になっています。現在管理委託を社会福祉協議会としている。八幡町の時代には、ある程度融通をつけて利用させていけたと思うのですが、いまは難しいかなと思います。

委員 八幡町では玉簾の滝周辺が整備されて、産直施設も開業して、お客さんもそれなりに来るし、またライトアップでも効果を上げている。それでもまだ期待するお客さんの数にはなかなか遠い。平日の利用客数を見ると少なく、人を雇っても給料を賄うほどのお客さんが来てないのが実態だと思います。既存施設を更に利活用を高めて、客数を増やすにはどういものが不足しているのか、この問題を掘り下げる必要があると思います。

それからもう一つ、鳥海山荘も新しくオープンして定着してきた。しかし去年でしたか、

こういう話を聞いた。ある老夫婦が鳥海山から夕方下山して、鳥海山荘に泊まれるかと聞かれたそうです。生憎満杯であったため、断ったそうです。満室ですというのは誰でもできることで、それからが大事なところ。ほかの旅館を紹介するとか送るとかの対応が出来なかったのか、情けないと思いました。観光客の立場になって考えないフロントの話聞いて、施設だけでなく、心の温かさ、客を思う気持ちはないんだと感じました。今のある施設のどこを掘り下げればもっとお客さんを獲得できるのか、それを考えていかないといけない。

議長 きめ細かい対応、心温まるソフト面での対応が必要でないかということです。

委員 皆さんおそらくご存じないと思うんですけど。なんでこんなことが起きるのかなという感じで、不思議に思っております。タキタロウという話を知っていますか。そのタキタロウが升田地域の熊沢や前ノ川のダムの上、日向川の深いところに45センチから50センチのイワナがぞろぞろいるようになっている。前の川釣り大会を提唱した福田先生は、毎年自費で釣り客のためにイワナを放流しているんです。そういう人たちに地域としても協力して、観光地としてのイメージアップしていくことが今後鳥海山の開発のなかには必要なのではないかと思います。前の川釣り大会もそうですし、八幡のタキタロウという話を宣伝することがこれからの時代必要なのです。そのような知恵を出していただければなと思います。

地域コミュニティについて

議長 ありがとうございます。それでは2番の「地域コミュニティづくりについて」入りしたいと思います。事務局よりお願いします。

事務局 資料4により説明。そこで今日は、これから八幡地域協議会の中でコミュニティ振興会の活動についても話し合うとなっておりますので、どのような取り組みが八幡として望ましいのかといったことをお話いただきたいと思います。

議長 ただ今の件について、ご意見、ご質問、ございましたらお願いします。

委員 難しい問題を抱えていることもあると思いますが、自主性が増し、活発になるのであれば、早めにコミュニティ振興会に取り組んでいけばいいのではと思いますが。どこに原因があるのかを踏まえて整理していく必要がある。そして今後とも取り組む方向でやるということであれば、みんなその方向に向かってやるべきだとは思いますが。

委員 この間、学区社協の説明会が開催された。コミュニティ振興会の関係も4地区それぞれの事情があるものと思います。コミュニティ振興会を立ち上げることによって、結構忙しい公民館活動に加えコミュニティ振興会の事業をやればもっと忙しくなるという、端的な受け止め方であった。公民館では地域のことをほとんど取り上げて、行事に固定化していることもあるし、色々な分野に公民館活動はもう浸透している。これ以上はあまり期待もできないし、自分たちもどうにもならない。合併してすぐコミ振を取り入れるのは無理があるし理解できない。地域住民の気持ちが段々高まってくる時間が必要だという認識でした。地域福祉協議会の懇話会の時も話したんですが、地域福祉と言っても、拠点をどこに置いて、実際やる職員体制はどう考えているのかを明確に示してほしい。コミ振も、公民館を吸収して、コミ振一本でやるという感じ。行政はスリム化できるけれども、最低限の行政の持ち分分野はあるはずだ。それをはっきり示し、職員人数の問題を含めた形が固まらないと、コミュニテ

ィは弱体化するという危機感を持っている。行政としてはメリットがあるのだろうが、地域住民から見ると、あの予算も削られた、この事業も縮小したと、全て地域住民が自分たちのことだからやりなさいよみたいな面が多々ある。この辺が一番理解しづらい面だと、注文つけたんです。地域福祉協議会の懇話会で、八幡の地域では、今の公民館の活動でいいとしており、コミ振化に移行していったほうがいいと言っている人がいないと思う。

議長 ほかの皆さんいかがでしょうか。

委員 最近、公民館関係の集まりがあると肩身の狭い思いをしている。ひとつは指定管理者制度です。講師の先生は公民館の指定管理を否定します。それは、公民館運営を委託するということは社会教育を委託することにつながることをひとつの理由にしていました。ただし、旧八幡町の指定管理者制度は、地域住民で組織する公民館運営協議会が運営していること、市から委託金が出ていることなどで、本当の管理者委託制度ではないと考えているようです。もうひとつは、庄内地区で進んでいる公民館のコミセン化です。これは、公民館とコミセンは違うんだ、公民館とコミセンは全く対極にあるというふうに言われます。コミ振について私自身よく理解していないところがありますが、これを見ても公民館とコミセンは違うんだと感じています。別の会議のときにも、講師が天童市を例にあげて、市の職員の課長クラスを地区公民館に職員として派遣している。それが公民館の一番理想的な姿だという話も聞いてきました。逆に酒田市では、コミセン化を進めて公民館主事は引き上げる、館長もいらぬという形をめざしているの、私としてはどっちがいいのか迷っているところなんです。まあ、あまり慌てないでじっくりもう少し見てみたほうがいいのかなというのが、私の今の感じ。会議には、今、新酒田市に変わったからといって、旧酒田市の方針を旧3町に押し付けるのではなく、地域性も考えながら、旧酒田市で今まで進めてきて、こういう良いところ、悪いところがあるんだよということをもっと見せることも必要だと感じます。今のやり方はあまりにも急激じゃないですかというのが私の印象です。

委員 コミセンの話はずいぶん前から出ています。そのたびに思うのは、酒田市で進んでいるから統一しなくてはならないというのも分かりますが、コミセンの問題点が色々出るのは旧酒田の中心街のほうであって、八幡で公民館の問題点が出ているかという点が出ていない。コミセンでないにだめだという問題なのか。財政的なものだけだ。市から金が出ないから何とかしようという話なんです。しかし、同じ酒田市であっても地域や環境も全然違うと思うんです。それを酒田のほうで上手くいっていますから、予算も少なくできるので八幡もやりなさいとなる。あなた方八幡に一年くらい住んで、この公民館のあり方をみてくださいと言いたい。私が知る限り、八幡の地域の公民館が悪いと聞いたことない。地域にすごく溶け込んでいるし、コミュニティの色々なことやっています。酒田市はこうあるべきだからこうしなさいと押し付けはやめてもらいたいです。地域性を考えてください。何年かしたらこうするんだよとか、決まっているみたいですね。

八幡地域づくり事業評価と19年度予算要求について

議長 この問題についてはこれからも勉強して、色々意見を話して行きたいと思います。次に入りたいと思います。八幡地域づくり事業評価と19年度予算要求について、事務局より

ご説明をお願いします。

事務局 資料5は1週間前の聞き取りにおいて把握している金額として理解ください。(それぞれの事業について説明)委員からは地域づくり予算にふさわしい事業についてご意見なり、ご質問いただければありがたいです。

委員 全体的にはいいのかな。社会体育事業のなかで、やっぱりこれくらいの増額はいたしかたないのかな。文化のまちづくり事業とか、かなり他の地区から、合併効果というか、来ている気がします。高原まつりもかなり人数が去年よりも増えて喜ばしいことだと思います。観光事業で前よりも枠がなくて、出入りしやすくなった。

委員 地域づくり事業になるかどうか分からないのですが、大分前に、IP電話の電話帳を作るとか話があった。IP電話の普及も結構なものかなと思うので、電話帳あれば便利かなと思いがあっているのですが、その計画はどうなっていますか。

事務局 IP電話、確かに普及しつつある訳ですが、絶対数からすれば少ない。それから、個人の情報ですので、全部の方から意見をまとめて、それを表示するというのは難しいとは考えます。詳しくは分からないので、問合せをしてお答えします。

議長 外にご意見ありませんか。その他の地域課題について、委員の皆さんからご発言ありますか。(声なし)

その他の地域課題について

議長 その他の地域課題について、事務局から何かございますか。

事務局 先ほどの地域コミュニティづくりの課題のなかで、時間が短いということもあって、皆さんから十分意見をいただけなかったかと思えます。この地域協議会委員の任期はもう半年ですが、地域コミュニティづくりについて、一度、単独あるいは外の団体とでもいいですので、公民館地区のコミュニティ振興会、公民館事業の進め方を視察しては如何でしょうか、というご提案です。

議長 公民館地区の視察、皆さん如何でしょうかね。色々聞き取りはしていただいているんですね。

事務局 私は北平田に行っています。どこがよろしいというのは、そのやり方がある訳ですから、平田郷、飽海郷の中から2箇所ほどを選び、午後から回るといのは如何でしょうか。場所の選定は、生涯学習課に聞き取りしたいと考えますが、時期は今年中に行いたいと思います。

議長 視察勉強会をしてみてもどうかというのですが、皆さん如何でしょうか。私たち勉強していく上で話も聴きたいですし、そういった機会を持ちたいと思えますが如何でしょうか。

委員 いいのではないか。

議長 それでは視察することにしましょう。

事務局 行きたい場所が特になければ、生涯学習課に聞いて、選定したいと思っておりますが如何ですか。

議長 皆さんよろしいでしょうか。

委員 いいのではないか。

議長 次の協議会の日程について、1月下旬の予定としていましたが。まだ先のことで、1月16日、火曜日か23日火曜日では如何でしょうか。

委員 まだ何時がいいか。先のことなので。

議長 それでは視察したときにまた集まる訳ですから、だいたい日程を頭に入れていただいて、そのときに調整しましょう。それ以外に地域課題ありますか。ないとすれば後の日程もいっばいなので、地域協議会を終わりにします。

5 閉 会

副会長 本日は時間が小刻みになってしまして、皆さん大変だったと思いますが、以上をもちまして、第3回八幡地域協議会を閉会します。

【会議資料の名称及び内容】

- ・資料 - 1 鳥海南麓地域振興計画（抜粋）
- ・資料 - 2 鳥海南麓地域振興計画の進み具合は（平成17年8月広報から）
- ・資料 - 3 酒田市グリーン・ツーリズムの状況
- ・資料 - 4 松山と平田コミュニティ振興会の取り組み状況
コミュニティ振興会の課題整理
- ・資料 - 5 八幡地域づくり事業評価と19年度予算要求について
- ・資料 - 6 観光客数（平成15年山形県統計年鑑より）